

院内における新型コロナウイルス感染症クラスターの現状について

この度の当院における新型コロナウイルス感染症クラスター発生におきまして、多くの患者様及びご家族様、関係する多くの皆様に対し、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますこと、お詫び申し上げます。また、残念ながら、この間にお亡くなりになられた患者様及びご遺族の皆様は、心よりお悔やみ申し上げます。

当院では、新型コロナウイルス陽性者を確認してから直ちに対策本部を立上げ、感染拡大を防ぐために、患者様及びご家族様に協力を頂き、他医療機関への転院やご自宅への退院を進めました。更に、郡山市保健所、福島県、福島県立医科大学、DMAT、国立感染症研究所などの助言・支援を受け、役職員一丸となり全力でクラスター収束に向け取り組んでまいりました。

結果として、病院内では患者様と職員合わせて159名の陽性が確認されましたが、想定外の陽性者が3月19日に確認されて以降、4月8日までに病院内の新たな陽性者は確認されておられません。

しかしながら、今回のクラスターが院内や地域社会に及ぼす多大な影響を考慮し、慎重に対策期間を定め、確実に収束宣言が出来るよう準備をしています。

新型コロナウイルス感染症により、当院の患者様の受入れや救急対応など様々な面でご協力いただきました医療機関の皆様、また当院へのご支援を賜りました全ての皆様に対しまして、行き届かなかった点をお詫びいたしますとともに、心より御礼を申し上げます。

改めまして、病院の再開の目途が立ち次第、お知らせする予定としております。

皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年4月8日

一般財団法人太田総合病院

附属太田西ノ内病院

病院長 新保 卓郎